



初春の雪をいただく粟ヶ岳

年頭に当たって



加茂市議会議員
安武秀敏

新春を迎え、市議会を代表して、市民の皆様にご挨拶申し上げます。また旧年中は、本市議会に對しまして、格別なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は中越地震から三年もたたないうちに、中越沖地震が本県を襲い、一般住宅や柏崎刈羽原子力発電所などが大きな被害を受けました。

本年も議会の活性化を図り、開かれた議会をめざしてまいりたいと考えておりますので、何とぞ、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

〈主な内容〉

- 一般会計補正予算を可決… (2)
- 委員会の審査から… (3)
- 9人が一般質問に登壇… (4)
- 平成19年の議会… (7)
- 議決状況一覧表… (8)

一般会計補正予算を可決

十二月定例市議会は、六日から二十日まで会期十五日間で開かれました。この定例会では、各会計補正予算、条例の改正、前年度決算など市長提議案二十二件を慎重に審議の結果、すべて原案可決、認定しました。

また、議員提出の意見書二件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の主な内容は、次のとおりです。

条例改正

職員の給与に関する条例は、平成十九年度から平成二十一年度までの間、職員の昇給を一号抑制するものです。また、人事院勧告に伴い、給料表及び扶養手当の引き上げを行うものです。

職員の退職手当支給に関する条例は、雇用保険法の改正に伴い、所要の改正をするものです。

職員の給与に関する条例の改正などを可決

補正予算

一般会計は、九号補正で一億二千三百六十六万二千円を増額し、十号補正で百七十三万六千円を増額し、予算の総額を百三十六億九千二百八十九万九千円とするものです。

歳出の主なものは、生活保護費扶助費三千五百万円などを増額し、職員人件費百五十七万六千円を減額し、また、給与改定所要額百六十八万九千円などを増額するものです。

国民健康保険特別会計は、二号補正で総額六百二十三万円を増額し、三号補正で二万六千円を増額し、予算の総額を三十一億三千二百九十五万円とするものです。

歳出の内容は、保健事業費三百七十七万一千円などの増額です。老人保健特別会計は、三号補

正で二億三千四百八十一万一千円を増額し、四号補正で一万円を増額し、予算の総額を三十三億四千二百一十一万七千円とするものです。

下水道事業特別会計は、給与改定所要額十一万二千円を増額し、予算の総額を二十六億二千八百二十八万四千円とするものです。

介護保険特別会計は、給与改定所要額一万六千円を増額し、予算の総額を二十億七千二百一十一万三千円とするものです。

在宅介護サービス事業特別会計は、二号補正で総額三百三十三万七千円を増額し、三号補正で一万八千円を増額し、予算の総額を四億五千六万円とするものです。

水道事業会計は、給与改定所要額十五万七千円を増額するも

12月定例会

6日	本会議	議決
7日	本会議	議決
10日	連合審査会	議決
11日	産業建設常任委員会	議決
12日	社会厚生常任委員会	議決
13日	総務文教常任委員会	議決
14日	決算審査第1特別委員会	議決
17日	決算審査第2特別委員会	議決
18日	決算審査第3特別委員会	議決
20日	本会議	議決

12月定例会日程

平成18年度 会計別決算状況 (単位：千円)

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引額	翌年度へ繰り 越すべき財源	実質収支額	
一般会計	12,363,832	12,113,626	250,206	38,134	212,072	
特別会計	国民健康保険	2,853,926	2,952,318	△ 98,392	-	△ 98,392
	老人保健	3,182,138	3,237,658	△ 55,520	-	△ 55,520
	宅地造成事業	167,581	20,437	147,144	-	147,144
	下水道事業	1,879,409	1,876,076	3,333	-	3,333
	介護保険	1,998,451	1,964,240	34,211	-	34,211
	在宅介護サービス事業	489,821	425,328	64,493	-	64,493

決算

平成十八年度決算を認定

一般会計と各特別会計の平成十八年度規約の変更
三条地域水道
用水供給企業団規約は、三条市が大字表記を廃止することに伴い、企業団の事務所的位置が変更になるため、規約を変更するものです。

決算について、各特別委員長の報告の後、一般会計決算については、起立採決の結果、賛成多数で認定しました。また、各特別会計の決算は、いずれも全会一致で認定しました。

※各会計別の決算状況は、別表のとおりです。

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案及び請願は、十二月十一日から十三日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は一件を継続審査としたほかは、採択すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

十二月十一日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

十二月十二日に委員会を開催し、一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算など付託された議案四件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

十二月十三日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案三件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、職員の退職手当支給に関する条例の改正については、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、一般会計補正予算のうち所管の部分など二件については、質疑、討論がなされ、起立採決の結果、原案可決すべきものと決定しました。

さらに、平成二十年度政府予算において、消費税の税率引き上げをおこなわないことを求める請願は、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会

と決定しました。
 なお、新テロ特措法案を撤回し、アフガニスタンへの民生支援の強化を求める請願は、継続して審査すべきものと決定しました。

一般会計と各特別会計の平成十八年度決算については、三つの決算審査特別委員会を設置し十二月十四日から十八日の間に各特別委員会を開催し、慎重に審査を行いました。
 一般会計決算は、決算審査第一及び第二特別委員会では、全会一致で認定すべきものと決定

しましたが、決算審査第三特別委員会では、討論の後、採決の結果、賛成多数で認定とすべきものと決定しました。
 また、各特別会計決算は、いずれも全会一致で認定すべきものと決定しました。

決算審査特別委員会の構成

※議会選出監査委員、議長を除く。

(◎委員長 ○副委員長)

決算審査第一特別委員会

- ◎森山 一理 ○山田 義栄
- 森川 豊 高井 保
- 高橋 禮雄 樋口 博務
- 関 龍雄



全車禁煙 羽生 六男

- ・一般会計歳出のうち所管の部分
- ・国民健康保険特別会計
- ・老人保健特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・在宅介護サービス事業特別会計

決算審査第二特別委員会

- ◎中野 元栄 ○広野 豊作
- 小野吉太郎 安中 弘
- 佐野正三良

決算審査第三特別委員会

- ◎大関 勝正 ○保坂 裕一
- 大平 一貴 亀山 重光
- 茂岡明與司 樋口 浩二

- ・一般会計歳出のうち所管の部分
- ・宅地造成事業特別会計
- ・下水道事業特別会計

1 月会 一月二十二日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案三件を承認原案可決しました。

そのうち、一般会計補正予算は、灯油等購入費助成事業費と市民福祉交流センター「加茂美人の湯」運営費を増額するものです。



加茂市における防災対策の現況について

市民クラブ 高井 保 議員

質問 ① 市民の安全を守るための手段への指導をすべて後手にならぬように、なお一層の行政の指導、対策を望みたいと思うが、その計画手段として今どのような現況なのか。

② 加茂市は水道事業会計を除き、各会計の決算審査を十二月に行っている。すべての前年度決算審査は九月に行っている。ただきたいと考えるがどうか。

③ 番田踏切が再開できたらどんなにか便利さが広がるだろうと考えているがどうか。

答弁 ① 加茂市の防災の根幹となるものが加茂市地域防災計

市政の内容を聞く

一般質問

十二月定例会では初

日から九人の議員が

一般質問を行い市政

全般について所見や

執行状況を問いただ

しました。その要点

をお知らせします。



12月定例会本会議

第三平成園の建設について

市民クラブ 安中 弘 議員

画である。この計画の方針により、中越大地震や中越沖地震も職員一丸となって対応してきたところである。一方、現在、洪水ハザードマップの作成に向けて取り組んでいるところである。また、加茂市の防災施策の一大事業として、信濃川、加茂川、下条川の堤防補強が進められている。いずれにしても、防災力強化のためにハード面、ソフト面ともに全力を挙げて進めている。

質問 ① 第三平成園の建設に当って、建物、施設等、先進事例を参考にされて、他に誇れる施設を建設していただきたいと思う。建物、諸施設、介護サービス等々どのようなコンセプトを掲げているのか伺う。

② 平成二十一年度に入所でき

きたいと考えている。
② これまでどおり十二月定例会とさせていたのがよいのではないかと考えている。
③ 平成八年か九年ごろに私が直接JR東日本の東京本社に向いて大幹部にお願いをした。JRでは、安全上の見地から将来踏切をゼロにすることを大目標にされていることであり、踏切の再開だけは勘弁していただきたいとのことであった。

財政の見通しについて

無所属 大平 一貴 議員

ることを目標にしているが、建設計画全般についての進捗状況について聞く。また、資金計画についても当初の計画でよいか改めて伺う。

答弁 ① 今回建設する第三平成園は、全室個室ユニットケア型である。ユニットケア型とは、今まで住みなれた住宅に近い環

境の中で、利用者十名程度でユニットをつくり、ユニットごとに配置した職員が利用者の方と家族のような関係の中で、自分の時間で生活する、自分らしく生活する、入所しても今までどおりの生活をすることを目標に介護するものである。
② これまでいろいろ検討をしてきて、近く設計業者の選定に入りたいと考えている。建設費総額で約十四億円、その財源内訳として、国、県補助金が約一億二千万円、頑張る地方応援プログラムによる特別交付税による措置が九千万円、加茂福祉会の自己資金が六億円、残りの約五億九千万円を加茂福祉会が借り入れ、その償還額の全額を加茂市が補助をするというものであった。その後状況が少し変わり、国、県補助金が一億六千四百万円ないし一億七千三百万円になるらしいことがわかった。

質問 ① 市長は、長期総合計を作成しても意味がないとしている。しかし、財政的な見通しは、作成する必要があるのではないか。
② コミュニティセンター等のおふるの利用料を加茂市在住の七十歳以上の方は無料、七十歳未満の方は百円と近隣にない安さに設定している。これにより

平成十八年度は、約七千四百万円の実質的な赤字または福祉費となっている。料金の改定を行い、持続可能な状況に近づける必要があるのではないか。
答弁 ① 平成十九年度当初における貯金の基金等の総額は九億七千万円ほどになった。平成十八年度末に一億五千万円となっている毎年貯金を食う額は、平

詳しくは会議録で

十二月定例会の会議録は、二月下旬に発行予定です。

図書館、勤労青少年ホーム、老人福祉センター、各コミュニティセンター、新潟経営大学図書館でござい

ください。
なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。

また、視察報告は、市議会ホームページでもごらん

成十九年度末に四億五千万円になるかもしれない。この事態をしっかりと見通しを立てながら切り抜けていかなければならない。地方交付税が驚くほど減らされてきている時代にあつては、長期総合計画のような青写真は到底描けない状況である。

② 七十歳以上の加茂市民が一年間に入浴される人数は、約七万人である。この方々から一回百円ずついただくことにすると、年間七百万円になる。若いときから働きに働いて七十歳以上になった延べ七万人の大勢の方々

産業振興と地域起しの未来展望について

議員 作 豊 野 廣 市政クラブ

質問 ① 先般十一月十日、十一日の二日間、加茂商工会議所の主催で特産品フェアが開催された。その評価について感想を伺う。

② 国は地域再生戦略に情報技術(IIT)の導入を奨励している。加茂市の現状と今後の方針について聞く。

③ 林業を再生する支援策について、加茂市の方針を伺う。

答弁 ① にいがた食の陣や県央まつりが同時に開催されるが、一万五千人を超える集客ができたことは評価されると思う。加茂の物産を市内外の皆さんにPRする絶好の機会であり、産業振興やまちの活性化に大いに意義ある催し物だったと思っている。

② 携帯電話不感地域の解消や市内全域でのインターネットの光ファイバーサービスが利用できるよう、NTTドコモやNTT東日本と常に緊密に連携しながら急ピッチで施策を進めているところである。今後ますますNTTドコモやNTT東日本にお願いして、市内の通信基盤の整備に努めていく。

③ 加茂市が事業主体となって

実施している林道布施谷長福寺線開設事業費、林道大皆川線改良事業費及び桐・松の苗を育てる運動として桐・松の苗木購入費、桐・松の植栽管理委託費を

須田地区の県営農地防災事業等の進捗状況について

民主市政を進める会 森川 豊 議員

質問 ① 須田地区の排水排除に係る県事業主体で県営農地防災事業の総事業費、加茂市分負担率、残事業費と進捗について、また、同じく下流部で施工された国事業主体の国営農地防災事業の総事業費に対する加茂市分負担率、負担償還年数と負担元

答弁 ① 須田地区の県営農地防災事業費については、総事業費で百五十二億七千四百万円、そのうち加茂分約が十二億六千九百万円である。市負担率は工事費で七%、事務費で二五%で

② 雨水等の悪水排水排除費に係る状況変化を考慮し、助成率の見直し等を考えることはできないのか。

② 雨水等の悪水排水排除費に係る状況変化を考慮し、助成率の見直し等を考えることはできないのか。

トキめき新潟国体加茂市開催について

大志の会 保坂裕一 議員

質問 ① トキめき新潟国体の本大会が、二〇〇九年九月二十

② 開催に伴う費用は、どこが

② 開催に伴う費用は、どこが

計上し、事業展開を行い林業に対する振興策を実施している。今後とも同事業等を継続し、林業の再生に向け支援していききたいと考えている。

ある。そのうち加茂市分がそれぞれ八・三%を負担することとなっている。

また、残事業費と進捗状況については、平成十八年度末現在で八十八億五千五百万円、そのうち加茂市分七億三千五百万円である。進捗率は、事業費ベ

次に、国営農地防災事業の総事業費に対する加茂市分負担率、償還年数と償還額についてであるが、市負担率は三・四%のうち、加茂市の負担率八・三%、償還年数は二年据え置き

② 白根郷土地改良区及び新潟市と協議を進めながら、今後検討していきたいと考えている。

負担するのか。

③ 大会運営の組織体制はどうなるのか。

④ 開催期間中はマンパワーの問題も出てくると思うが、市民ボランティアの必要はあるか。

答弁 ① 新潟県準備委員会で

は、平成十二年七月に市町村に開催希望調査、競技団体に会場地意向調査を実施した。これを

② 加茂市が全額負担するが、そのうち競技会の準備、運営に

平成二十年度予算の編成にあたって

日本共産党 亀山重光 議員

質問 ① 市民にもわかりやすい財政計画を策定し、計画に基づく予算編成が必要になってくると考えるが見解を伺う。

② 新年度予算の編成に当たって、見せかけの予算ではなく、市民要望を精査し、本来あるべき予算計上を行うべきと考えるが見解を問う。

③ 市長選挙での公約が基本構想であると本心に考えているのか改めて伺う。

答弁 ① 小泉内閣が出現してからは、県も各市町村も、地方交付税のうち、自由に使える分

額、九億七千万円ほどになっ

要する経費については、三分の二の運営交付金が、新潟県から交付される予定となっている。ただし、算定に当たっては、どの競技も基準単価や基準数量との差などから、交付率の六割程度の交付となる。

③ 現在、国体準備室を設置して準備を進めているが、今後、国民体育大会開催基準要領により実行委員会を設置する。

④ 市民ボランティアの必要性については、現在検討をしているところである。

た。平成十八年度末に二億五千万円となっている毎年貯金を食う額は、十九年度末には四億五千万円になるかもしれない。このようなひどい状況の中で、財政計画、基本計画、基本構想をつくるということは、到底無理なものと考えている。

② 予算の編成と執行のやり方は、国の中央官庁のやり方である。すなわち、予算編成の段階で査定を行って予算要求額を切り、編成され議決された予算を執行の段階でさらに節約するというやり方である。

③ 選挙において五十六項目の公約を掲げ、市民の皆様の圧倒的な支持をいただいた。この私の公約が取りも直さず基本構想である。

平成19年度の米価格低迷の現状と今後について

山田 義栄 議員

質問 ① 品目横断的経営安定対策の加入要件については、都道府県知事特認を市町村長に移行する動きがあるが、市長の考えを伺う。生産意欲のある農家に対して、加入できるような特例的な要素を含めて検討願いたい。

② バイオエタノール原料稲によるバイオエタノール製造・利用等の取り組みが始まるが、加茂市独自の支援策について伺う。

③ 二十年度の米政策は、国自体が非常に流動的な要素を秘めているので、次年度の方針に変更があったら、制度の周知徹底をお願いしたい。

答弁 ① 現在、この要件については、自民党の農業基本政策小委員会でも検討されているところであり、農林水産省としての考えがまだ出されていない。国の方針が出されしだい対応していきたいと考えている。

② 本年度、いしがた南蒲農業協同組合では、モデル事業として三条市と見附市で合わせて二十六畝の取り組みを実施し、来年度からの本格実施に向け、準備を進めている。

加茂市独自の支援策について

は、田に稲を作付けできることから、田を荒らすこともなくできる。今後、加茂市水田農業推進協議会に諮り実施に向け対応したいと考えている。

地域医療と緩和ケアについて

公明党 佐野正三良 議員

質問 ① がん対策基本法が本年四月に施行となり、六月にがん対策基本計画が閣議決定されたことにより、がんになっても痛まない医療の普及へ期待が高まっている。がんになっても痛くない、苦しめないという医療を目標に、緩和ケア推進についての認識と位置づけ、今後の方針と目標について尋ねる。

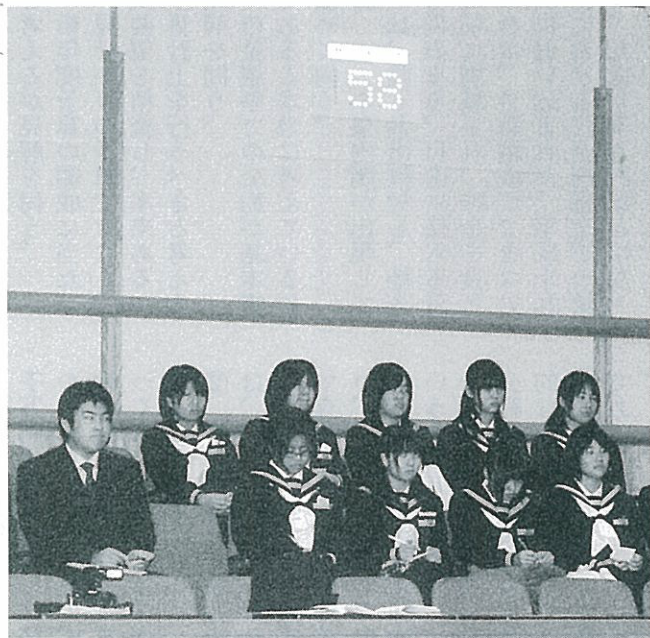
② 産・官・学の協力関係で、中国、ロシアのツーボー市、コムソリスク市との経済交流を平等互恵の原則のもとで活発に行うべき時である。

答弁 ① 国や県においてがん患者の緩和ケアの重要性が認識され、これからその体制整備が進められていくものと思われるが、加茂市においてもがん患者

③ 現在、国のほうで見直しを検討しているところであり、新しい情報が入りしだい農家の皆さんへ制度説明等を行いたいと考えている。

の緩和ケアについては、がん自体の治療と同じようにとても重要なことであると認識している。今後、国や県において緩和ケアの体制整備が進められていく中で、市としても県や医療機関と連携をとりながら、市が担える部分について積極的に対応していきたいと思う。

② 加茂市としては、国際交流において、これまで広い視野に立ちながら利害を伴わない、長続きする交流を目指して、コムソリスク、ツーボー両市と友好を深めてきたところである。国際経済交流については、貴重な提言として承らせていただき、常に念頭に置きながら機が熟すのを見きわめていきたいと思う。



議会を傍聴する須田中学校の生徒たち

3 例会

傍聴してみませんか

加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。

市議会は、誰でも傍聴できます。

皆さんが選んだ議員が皆さんの声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっとも身近な審議機関です。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般に

ついて一般質問も行われます。このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。

次の定例会は、三月ですが、傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただくだけで入場できますので、お気軽に傍聴にお出かけください。

傍聴席は、一般席40、車いす席4、記者席8の合計52席となっております。

消費税率の引き上げを 行わないなど採択

十二月定例会会で受理した請願は二件で、審議の結果、趣旨妥当として一件は採択、一件は継続審査としました。

せりがん 2件

▽採択したもの

☆意見書提出を求める請願
 ・平成二十年度政府予算において、消費税の税率引き上げをおこなわないことをもとめる請願（消費税廃止新潟県各界連絡会代表）

▽継続審査としたもの

・新テロ特措法案を撤回し、アフガニスタンへの民生支援の強化を求める請願（憲法を守る新潟県共同センター代表）
道路整備財源確保に関する意見書など二件を提出
 定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書二件を可決し、関係機関へ提出しました。
 その意見書の要約は次のとおりです。

平成19年の議会

議会開催状況 [委員会は視察等を含む]

会 議 名	日 数
全 員	18
本 会 議	4
連 合 審 査 会	16
全 員 協 議 会	9
常 任 委	8
総 務 文 教 常 任 委 員 会	8
産 業 建 設 常 任 委 員 会	11
社 会 厚 生 常 任 委 員 会	4
常 設	3
議 会 運 営 委 員 会	7
特 別 委	3
決 算 審 査 特 別 委 員 会	3
医 療 問 題 特 別 委 員 会	3
議 会 だ よ り 編 集 委 員 会	7
そ の 他	7
各 派 交 渉 会 ほか	91
合 計	91

案件と議決状況

案 件	件 数	議決状況	件 数
市 長 提 出	条 例	原 案 可 決	7
	予 算	修 正 可 決	1
	決 算	認 定 意 見	8
	人 事	同 承 認	6
	専 決	承 認	9
	そ の 他	承 認	9
	計	計	96
議 員 提 出	条 例	原 案 可 決	13
	規 則		
	意 見 書		
請 願	9	採 択	8
		継 続 審 査	1
合 計	118	合 計	118

ほかに陳情2件を配付して報告
 他市町議会議員等の視察来市 7件 56人

◎道路整備財源確保に関する意見書

道路は地方の生活を支える最も重要な社会基盤として、その必要性は大きく、特に、新潟県における国道四〇三号線は、県内の各地域と新潟地域を結ぶ大動脈である。
 しかし、本線バイパスが未整備のため慢性的な渋滞が発生し、県内各地域の移動効率を確保す

る広域幹線道路としての機能を十分に果たしていない。
 特に、救急医療のように、時間との闘いが住民の命を左右する分野において、この現状は深刻かつ重要な問題である。
 一日も早く、県内各地域を本線バイパスで結び、原則、三〇分以内に、新設されるであろう救命救急センターに患者を運べる「命の大動脈」を完成させる必要がある。
 よって、政府並びに国会においては、地方における道路網整備の実態と必要性を認識し、その財源を確保する道路特定財源制度を堅持するよう強く要望する。

◎平成二十年度政府予算において、消費税の税率引き上げをおこなわないことをもとめる意見書
 勤労世帯の収入は年々減少し、生活保護世帯は過去最多となり、貧困の拡大が深刻な社会問題となっている。
 こうした中での消費税増税は、勤労者から年金生活者など、あらゆる階層に課税され、家計を直撃している。
 また、税率引き上げは、赤字でも納税せざるをえない中小企業の営業悪化に拍車をかけ、地域産業・地域経済の後退が懸念される。

さらに、消費税率引き上げにより、地方自治体の歳出が増大し、財政を圧迫する一因となる。高所得者より低所得者や社会的弱者ほど負担が重くなる消費税の逆進性は、福祉や年金を賄うにはふさわしくない税金である。
 よって、住民、中小企業の生活を守り、地方自治体歳出を増大させないため、消費税税率の引き上げはやめるべきである。



12月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
議案番号	件名	議決状況
12	道路整備財源確保に関する意見書	原案可決
13	平成20年度政府予算において、消費税の税率引き上げをおこなわないことをもとめる意見書	〃
市長提出議案		
75	19年度一般会計補正予算(第9号)	原案可決
76	19年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	〃
77	19年度老人保健特別会計補正予算(第3号)	〃
78	19年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	〃
79	18年度一般会計決算の認定	認定
80	18年度国民健康保険特別会計決算の認定	〃
81	18年度老人保健特別会計決算の認定	〃
82	18年度宅地造成事業特別会計決算の認定	〃
83	18年度下水道事業特別会計決算の認定	〃
84	18年度介護保険特別会計決算の認定	〃
85	18年度在宅介護サービス事業特別会計決算の認定	〃
86	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正	原案可決
87	職員の退職手当支給に関する条例の一部改正	〃
88	三条地域水道用水供給企業団規約の変更	〃
89	職員の給与に関する条例の一部改正	〃
90	19年度一般会計補正予算(第10号)	〃
91	19年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	〃
92	19年度老人保健特別会計補正予算(第4号)	〃
93	19年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃
94	19年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃
95	19年度在宅介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	〃
96	19年度水道事業会計補正予算(第1号)	〃

1月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
1	専決処分の承認(19年度一般会計補正予算第11号)	承認
2	19年度一般会計補正予算(第12号)	原案可決
3	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	〃

連合審査会

十二月十日に連合審査会を開催し、各常任委員会及び各特別委員会に付託された議案十四件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

十一月二十二日に月例全員協議会を開催し、産業建設常任委

員会及び社会厚生常任委員会の行政視察報告や事務に関する説明書の質疑を行いました。

また、一月二十二日に月例全員協議会を開催し、医療問題特別委員会の行政視察報告や事務に関する説明書の質疑を行いました。

議会日誌

〈11月〉

5～6日 医療問題特別委員会行政視察(郡上市民病院)
 「視察事項」
 ・地域医療の実態

22日 月例全員協議会
 29日 議会運営委員会

〈12月〉

6～20日 定例市議会
 20日 全員協議会
 18日 議会運営委員会
 22日 臨時市議会
 月例全員協議会
 議会だより編集委員会

議会だより編集委員

任期満了により、各常任委員

- 会から次の者が、議会だより編集委員に選出されました。
- 委員長 安武 秀敏
 - 副委員長 安中 弘
 - 委員 亀山 重光
 - 委員 小野 吉太郎
 - 委員 安田 憲喜
 - 委員 高橋 禧雄
 - 委員 樋口 博務
 - 委員 佐野 正三良

